

北海道帯広農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和2年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)アグリマイスター顕彰制度を推奨して、農業教育の質を保障 (2)農業の高度化に対応した農業教育の実践	B	(1)日本農業技術検定2級15%、3級90%取得と各種資格取得の推進 (2)プロジェクト学習等、農業クラブ活動の推進
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)グローバル教育を推進して、幅広い視野を持った農業の担い手を育成	A	(1)GAP認証取得後の継続的な学習と生産工程の確立 (2)海外研修の充実及び報告会の実施
II 地域社会・産業に 寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)農業・畜産経営に生かすことのできる実践的な生産技術の習得	A	(1)地域や関係機関と連携した研修の充実 (2)地域生産者、産業に従事の方との積極的な連携 (3)校内外における技術研修会への積極的参加
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)食の安全・安心教育を徹底し、食料供給のための衛生管理意識や倫理観の育成 (2)地域に貢献する林業・農業土木技術者の育成	A	(1)商品の検査、検品のチェック体制を継続し商品事故防止に努める (2)HACCP認証後の継続的な学習、大学と連携した講習会の実施 (3)地域農家・企業と連携した職場見学、交流学習をとおし、3年間の組織的・系統的なキャリア教育を実施
III 地球環境を守り 創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)環境に配慮した持続可能な生産技術の習得	B	(1)GAP取得作物を適性に栽培し、有効に活用することで環境に配慮した農業の実践につなげる (2)家畜排せつ物を有効活用した農業経営の実践
	⑥「食農」教育を推進します。	(1)「食農」の学びをとおして自己の在り方、考え方を見つめるため、学校開放授業や出前授業の実践	A	(1)幼稚園や小学校、中学校と連携した栽培・加工の体験授業の実施 (2)園芸講習会、酪農教育ファーム、PTA視察研修など開かれた学校農場の運営
	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)食彩フェア、各種販売イベントへ出店することで生産、加工、販売、消費までの一環した農業教育の実践 (2)学校林で産出される木材の有効活用	A	(1)本校で生産された原材料を有効活用し、生産、製造、検査、検品、販売までの一貫した実習の展開 (2)学校林の収穫から販売、再造林にいたる過程の教材化
IV 地域交流の拠点 となる学校	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)ヒューマンサービスを推進し、社会と共生する農業の担い手を育成	A	(1)障害をもつ人たちとの農業体験交流 (2)HPを活用した情報発信
	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)大学・試験場・関係機関・民間企業等と連携を強化し、農業教育の更なる充実	B	(1)農協の協力を経て、担い手育成事業に取り組む (2)普及センターとの連携事業 (3)帯広畜産大学との連携の強化 (4)関連学会や研究会への参加
V 地域防災を推進 する学校	⑩「地域防災を推進する」教育を行います。	(1)地域防災を意識した農業経営や環境教育の実践 (2)災害に強い森林づくりへの取組 (3)停電等の災害時の対応への取組	B	(1)台風被害からの復旧、防災の現状を学ぶことで、防災意識を向上 (2)安全教育に配慮し、持続可能な農業の推進 (3)カラマツ人工林保全及び長伐期化に関する研究 (4)危機管理マニュアルの共通理解、適正運用